

## 令和 3 年度 情報発信チームの活動状況について

## 1. 概要

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動できなかったため、令和 3 年度の活動について検討する会議を開催した。

## 2. 検討状況

## (1) コロナ禍での活動形態について

第 1 回検討会議では、どのような媒体を使って発信していくか検討した。

今後、発信内容について検討を進め、それに合わせた広報媒体を決定していく。

委員からの主な意見	事務局からの回答
ZOOM を活用したオンラインによる県民フォーラムの開催ができないか。	<p>県の情報セキュリティを管理するデジタル戦略本部室に確認したところ、セキュリティの観点から、不特定多数の人が県の回線に接続できる状態にすることは認められず、オンライン開催するには委託事業として行う必要があることがわかった。</p> <p>一方で、令和 3 年度予算編成においては、全庁コロナ・シフトの考え方にに基づき、県主催のイベントは原則中止という事で、県民フォーラムを開催するための予算が確保できておらず、現時点では、今年度、オンライン開催はできない状況にある。</p>
TVK、ラジオ番組、ジェイコム、YouTube を活用した水源環境保全・再生施策の周知。	<p>県の広報媒体を使用して広報できるものもあるが、現時点では経費がかかるものについては、実施できない。</p>

## (2) 絵本・紙芝居の配布について

平成 30 年度に作成した絵本・紙芝居について、現在絵本約 475 冊、紙芝居約 575 冊、DVD25 枚が残っているため、今後の配布方法について検討した。

検討した結果、配布希望をする方が連絡しやすいよう、県のホームページの絵本・紙芝居を紹介するページに「絵本・紙芝居の御利用を希望する場合は、無償で提供しておりますので、お気軽に御相談ください。」といった言葉を載せることになった。

委員からの主な意見	事務局からの回答
絵本・紙芝居を配布した保育園の意見では、就学前の子どもには内容が難しいということだった。	
土地水資源対策課が小学校へ「森は水のふるさと」を送るときに、「絵本が必要な方はこちらまで」という紙を一緒に入れてもらうのはどうか。	今年度はすでに配布済みのため、来年度以降検討。